

2010年10月18日

各 位

三井化学株式会社

北海道におけるアドブルー生産プラントの新設及び高純度尿素水製造特許成立について

当社（社長：田中稔一）は、尿素SCRシステム搭載ディーゼル車（※）用のNO<sub>x</sub>還元添加剤であるAdBlue<sup>®</sup>（以下、アドブルー）を生産していますが、このたび以下の通り、生産能力を増強することを決定しましたのでお知らせいたします。

（※）SCRはSelective Catalytic Reductionの略で、「選択触媒還元」を意味する。尿素SCRシステムは排出ガスに尿素水を噴射し、窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）を無害な水と窒素に分解するもので、浄化率が高い。

<新設計画の概要>

1. 対象製品 : アドブルー（高品位尿素水、ドイツ自動車工業会登録商標）
2. 新設場所 : 北海道三井化学株式会社（三井化学100%子会社、北海道砂川市）
3. 生産能力 : 20,000KL/年
4. 営業運転開始 : 2010年12月（予定）

国内トラックメーカー4社は、自動車排出ガス規制の強化（ポスト新長期規制）に伴う窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）の排出規制に対応し、大型車の新車販売に尿素SCRシステムを搭載することとしました。また、今後、中・小型トラックの一部においても搭載の見込みであり、これによって、アドブルーは本格的な普及・拡大期を迎えることになりました。

当社は、2004年に尿素SCR車の販売が開始された時に、三井物産（販売元）やトラックステーションの販売店各社とともに、全国1,000店舗以上で入手が可能となる供給体制を整え、尿素SCR車の普及を支えてきました。アドブルーは、大阪工場で国内最大級の生産規模を誇るアンモニア、尿素からの一貫生産を行い、また、この尿素を使用して、関東、九州の2工場でも生産しており、3工場合計で70,000KLの能力を持っています。

今般、需要の伸張への対応とお客様への供給サービスの向上を目指して、新たに北海道に4番目となる工場を設け、さらに来年前半には名古屋に工場を新設（能力20,000KL/年）し、計110,000KL/年に生産能力を増強します。そして、2014年までには、計7～9箇所に拡充し、合計約250,000KL/年に生産能力を増強します。また、ストックポイントは今年度、5箇所から8箇所に増やし、少量容器の配送やローリー巡回配送の拠点として強化を図っております。

今後も販売元の三井物産やトラックステーションを運営する広域販売店（フリート）各社との連携を強化するとともに、新たに石油元売系各社のガソリンスタンドでの販売を加えることにより、今年度中に「三井のアドブルー」扱い店を2,000店舗超とし、全国への安定供給体制の強化を図っていきます。

特許に関しては、2005年4月に出願した「高純度尿素水の製造方法」の特許がこのたび成立しました。本特許は、尿素の適切な溶解温度、製品中のオイル除去やろ過の方法などに関するものです。

<本件に関する問合せ先>

三井化学株式会社 IR・広報部長 裾分 啓士 TEL03-6253-2100

以 上